

令和2年10月16日
鹿屋体育大学学長選考会議

国立大学法人鹿屋体育大学長に求められる学長像
(国立大学法人鹿屋体育大学学長選考基準)

全国で唯一の国立の体育系大学である本学は、スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する理論と実践を教授研究し、もって豊かな教養と高い学識及び優れた技能を合わせ備えた実践的、創造的な指導者を養成するとともにスポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する理論や実践の深奥をきわめ、その進展に寄与することを目的としています。

それらを踏まえ、国立大学法人鹿屋体育大学学長選考会議は、国立大学法人鹿屋体育大学学長選考規則第4条第2項の規定に基づき、学長に求められる資質・能力等を次のとおり定めます。

I 次期学長に求められる資質・能力

- 1 大学を運営するため、必要な情報収集が行うことができ、適切なリーダーシップを発揮できる者
- 2 中長期的な観点から大学の進むべき方向性を学内外に提示でき、かつ、自ら推進し、実行できる能力を有する者
- 3 大学関係者からの支持や人望が厚く、諸課題の解決のため、調整できるコミュニケーション能力を有する者
- 4 国立唯一の体育大学としての存在を意識すると共に、地域・社会とのつながりにも配慮し、大学経営について俯瞰した見方ができる者
- 5 国立大学法人を取り巻く厳しい現下の情勢を迅速に理解し、適切に対応ができる能力を有する者
- 6 体育大学として本学の持つ知的・物的資源を有効に活用することにより、我が国はもとより世界のスポーツの国際的な発展に貢献できる能力を有する者

II 次期学長に求められる取り組むべき課題

- ①スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する高度で良質な実践的指導者の育成に取り組むこと。
- ②本学の特色や強みを活かした多様な教育モデルの構築とそれを実践できる柔軟かつ機動的な教育組織の改革を推進すること。
- ③全学的な教学マネジメントに基づく大学教育の質の向上に取り組むこと。
- ④多様な学生支援の充実・強化を図ること。
- ⑤基礎研究・学術研究の卓越性と多様性を高めるため、学長のリーダーシップの下、大学が行う戦略的な研究プロジェクトを推進すること。
- ⑥本学の研究環境を活かした産学官連携による研究の推進を図ること。
- ⑦地域社会や産業界等外部からの期待に応えるための教育研究成果の見える化と、積極的な情報公開を行うこと。
- ⑧生涯教育の機会の提供を行うこと。
- ⑨地域におけるスポーツ・武道の普及に努めること。
- ⑩グローバルな交流の機会を整備すること。
- ⑪武道の魅力の発信を行うこと。